



上村

上村淳之「月夜」昭和33年(1958) 当館初展示 松伯美術館蔵 第II期



上村

上村淳之「孔雀」昭和41年(1966) 当館初展示 松伯美術館蔵 第I期

ATSUSHI

ATSUSHI

追悼 学生時代から晩年まで

# 鳥たちの世界

淳之展 第II期



上村淳之「夕日に」昭和56年(1981) 松伯美術館蔵 第II期



上村淳之「丹頂」令和2年(2020) 個人蔵 第I期

追悼 学生時代から晩年まで

# 鳥鳥鳥

淳之展 第I期

2025年 8月9日(土) ~ 10月19日(日)

松伯美術館  
SHOUHAKU ART MUSEUM

【休館日】月曜日(ただし、月曜日が祝日、休日の場合は開館し、翌平日が休館)  
【開館時間】10時~17時(入館は16時まで)  
【入館料】大人〔高校生・大学生を含む〕820円、小学生・中学生 410円  
【主催】公益財団法人松伯美術館、毎日新聞社

2025年 5月3日(土・祝) ~ 7月13日(日)

松伯美術館  
SHOUHAKU ART MUSEUM

【休館日】月曜日(ただし、月曜日が祝日、休日の場合は開館し、翌平日が休館)  
【開館時間】10時~17時(入館は16時まで)  
【入館料】大人〔高校生・大学生を含む〕820円、小学生・中学生 410円  
【主催】公益財団法人松伯美術館、毎日新聞社

# 第Ⅰ期 鳥

学生時代から晩年まで

松伯美術館開館以来、館長をつとめてきた上村淳之(1933~2024)が令和6年11月に逝去しました。

もの心つく頃から父松篁が飼っていた小鳥や鶏の世話をするのが大好きだった淳之は、京都市立美術大学在学中から、祖母松園の没後空き家となっていた唳禽荘に移り住み、鳥の飼育を始めました。三回生までの課題制作をおえると、東洋画と西洋画の違いを考えつつ花鳥画を志します。以来、東洋独自の絵画空間を追求し続けた淳之は、松園、松篁と同じく文化勲章を受章しました。

これまであまり展示する機会がなかった空間処理に悩んでいた若かりし頃の作品から、晩年までの上村淳之の作品を、当館初展示のものを含めて二期に分けてご覧いただきます。



上村淳之「白鷹」平成11年(1999) 松伯美術館蔵 第Ⅰ期



上村淳之「山帰来」当館初展示 田淵ホールディングス株式会社蔵 第Ⅰ期



上村淳之「白孔雀」昭和39年(1964) 松伯美術館蔵 第Ⅰ期



上村淳之「月の水辺」平成26年(2014) 個人蔵 第Ⅰ期



上村淳之「鳩舎」昭和39年(1964) 松伯美術館蔵 第Ⅰ期



上村淳之「熱国月明」昭和42年(1967) 松伯美術館蔵 第Ⅱ期



上村淳之「鳥A」昭和45年(1970) 当館初展示 松伯美術館蔵 第Ⅱ期



上村淳之「沼」昭和35年(1960) 当館初展示 松伯美術館蔵 第Ⅱ期



上村淳之「水辺の四季」平成21年(2009) 松伯美術館蔵 第Ⅱ期



上村淳之「四季花鳥園」大阪新歌舞伎座観劇原画 平成22年(2010) 近鉄グループホールディングス株式会社蔵(松伯美術館管理) 第Ⅱ期



上村淳之「舞う」平成17年(2005) 松伯美術館蔵 第Ⅱ期

# 第Ⅱ期 鳥

学生時代から晩年まで

## 第Ⅰ期 松園 特別展示



「春の旅」昭和14年(1939) 5月3日~6月8日展示 松伯美術館蔵



「雨を聴く」昭和15年(1940)頃 6月10日~7月13日展示 松伯美術館蔵

## 松伯美術館

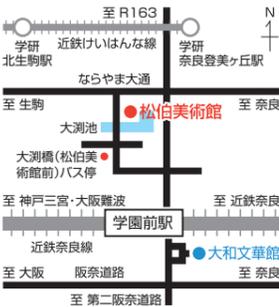
SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号 Tel.0742-41-6666



松伯美術館は、Googleが提供するGoogleArts&Cultureに参加しています。当館所蔵作品の高解像度画像や360°のパノラマ画像「ミュージアムビュー」で館内の様子をご覧いただけます。

shohaku 検索



## 松伯美術館「友の会」会員募集中!

無料入館ほか様々な特典をご用意、皆さまのご入会をお待ちしております。

### 【交通案内】

近鉄奈良線「学園前駅」北口バスターミナル⑤・⑥番のりばよりバス約5分、「大湖橋(松伯美術館前)」下車、大湖橋を渡った右側。

\*駐車台数に限りがあるため、「電車・バス」のご利用をお願いします。

## 第Ⅱ期 松園 特別展示



「初秋」田淵ホールディングス株式会社蔵